

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度			
大項目	基本目標	06	健全で自立したまちづくり
中項目	基本施策	01	簡素で効率的な行政運営
小項目	施策	14	その他事務管理(総務庶務)
事務事業名			
05		各種団体補助事務	
		根拠法令・規程等	地方自治法等
		問担当課(室)	総務部総務課行政係
		合先職・氏名	係長 山本光男
		電話	0869-64-1807
		このシート作成に要した時間 0.5 時間	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	各種団体(6団体)
目的(何のために)	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	各種団体に係る業務が円滑に遂行できるようにする。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	和気地区保護司会助成金	犯罪を犯したものの更生を助けるとともに、犯罪の予防のために世論啓発に努める団体に対する補助を行う	
	海上保安協会玉野支部会費	海上保安発想の普及宣伝、海難防止活動、海上防犯活動、海洋環境保全推進事業等を行う団体に対して会費を支払う	
	岡山検察審査会助成金	検察審査会制度の周知、啓発に努める団体に対する助成を行う	
	遺体献納ともしび会補助金	医学、歯学の発展を通じて社会福祉に寄与しようとする団体に対する補助を行う	
	備前署管内暴力追放推進連合会分担金	暴力追放思想の普及宣伝、暴力追放活動の推進等を行う団体に対して分担金を支払う	
	地方自治研究機構会費	地方行財政に関する調査研究、各種講習会の開催、法制執務に関する支援等を行う団体に対して会費を支払う	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
事業費	直接事業費		691	547	547
	必要人員人件費	千円	0.01人	93	0.00人
	事業費計		784	640	547
決算額	国県支出金	千円			
	受益者負担				
	繰入金				
	その他()				
	一般財源		784	640	547
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
結果指標	補助等団体数	説明	補助金等を交付している団体数		
	結果指標量	団体	7	7	7
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円			
単位当たりコスト		0	0	0	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
補助等団体数	目標値(A)	7	7	7	-
	実績値(B)	7	7	7	到達目標値
	達成率(B/A)	100.00%	100.00%	100.00%	-
成果指標設定の考え方・式や説明					

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	妥当性評価 <A~E> C
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である	効率性評価 <A~E> C
有効性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	有効性評価 <A~E> C
	目的達成度 市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

事業の目的、効果やその留意点などを評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	一部の団体について、補助金の減額を検討している。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
各種団体への補助は、義務的なものもあり廃止は難しいが、縮減に努める。	評価区分 <A~E>	C
	妥当性 A C E 効率性	

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	助成額の縮減に努める。					

Action